

囚われた美少女捜査官 かみしろ 神代さくら

THE
COMIC

第3話

成年
コミック

二次元ドリームコミックス

漫画: 助三郎

原作: 筑摩十幸

キャラクター原案: 孤裡精

CONTENTS

003

第3話

038

巻末特典 ifショートストーリー③

(小説：筑摩十幸 挿絵：助三郎)

さくらが
緊急入院？

声を潜めてシン

体育倉庫に
いくらマイクやカメラが
なくても気を付けて

目をつけられたら
その変装も
意味がなくなるわよ

ちよ…近いです
すみれ
董さん…

ふふふ…これだけ近づけば
嫌でも小声で喋るでしょ？

表向きは入院だけど
恐らくさくらは
徳山に捕らえられたわ



さくらは徳山を
学園外に連れ出す
つもりだったんです

学園はアルディア大使の
所有で治外法権が認められ
日本の法律の外です



だから逮捕するには
学園の外に
出すしかない…

しかしそれで
逆に捕まったと
なると…



シンも知ってるでしょう？
アイツらに捕らえられた
女性捜査官がどうなったか？





早くさくらを
助けないと！

あなたさだ
貴方佐田刑事から何か
緊急時の手段を
教えてもらっていない？

…！



さくら…さくらが…!!
手はある…一つだけ！

…でも
居場所もわからない
状況では…!!



残念ですが
…ありません

…そう

手段はあるけど
今は使うべきでないと
判断したようね…



恋人のピンチでも
肝が据わっているわね

じゃあ
先に行くわね

!!

!!

ドサッ
!!

あああん!
ごめんねシン

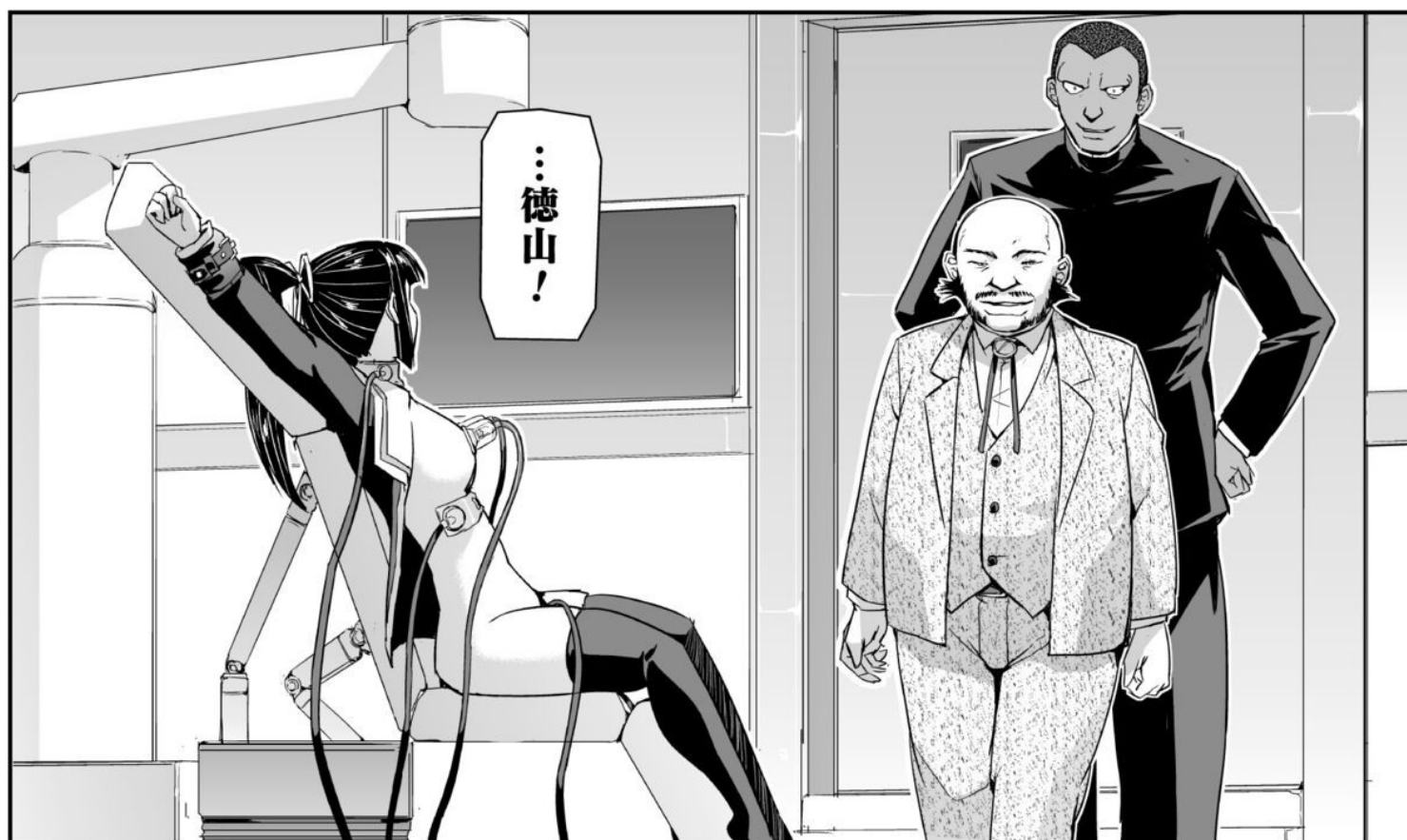
い…いえ

ふふふ
照れちゃって
初心で可愛い

徳山様にお願ひして
食べさせて
もらおうかしら…

いいわよね♥
どうせ彼女も
他の男に犯られ
まくるんだから









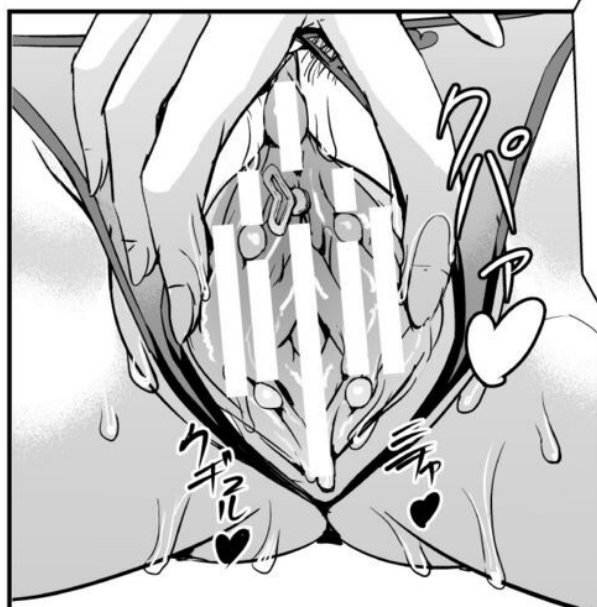
相変わらず
デカイ乳だのう



乳腺も大分^{だいぶ}
拡張されたようだの



くくくく
コレも感じるのか
変態女



いえまだ指くらいです
今日はオマンコで
お愉しみください



もしかして
チンポも入るかの？



うふふ
ハイい♡♡



そんな事言って
本当はチンポが欲しい
だけなんじゃろ？

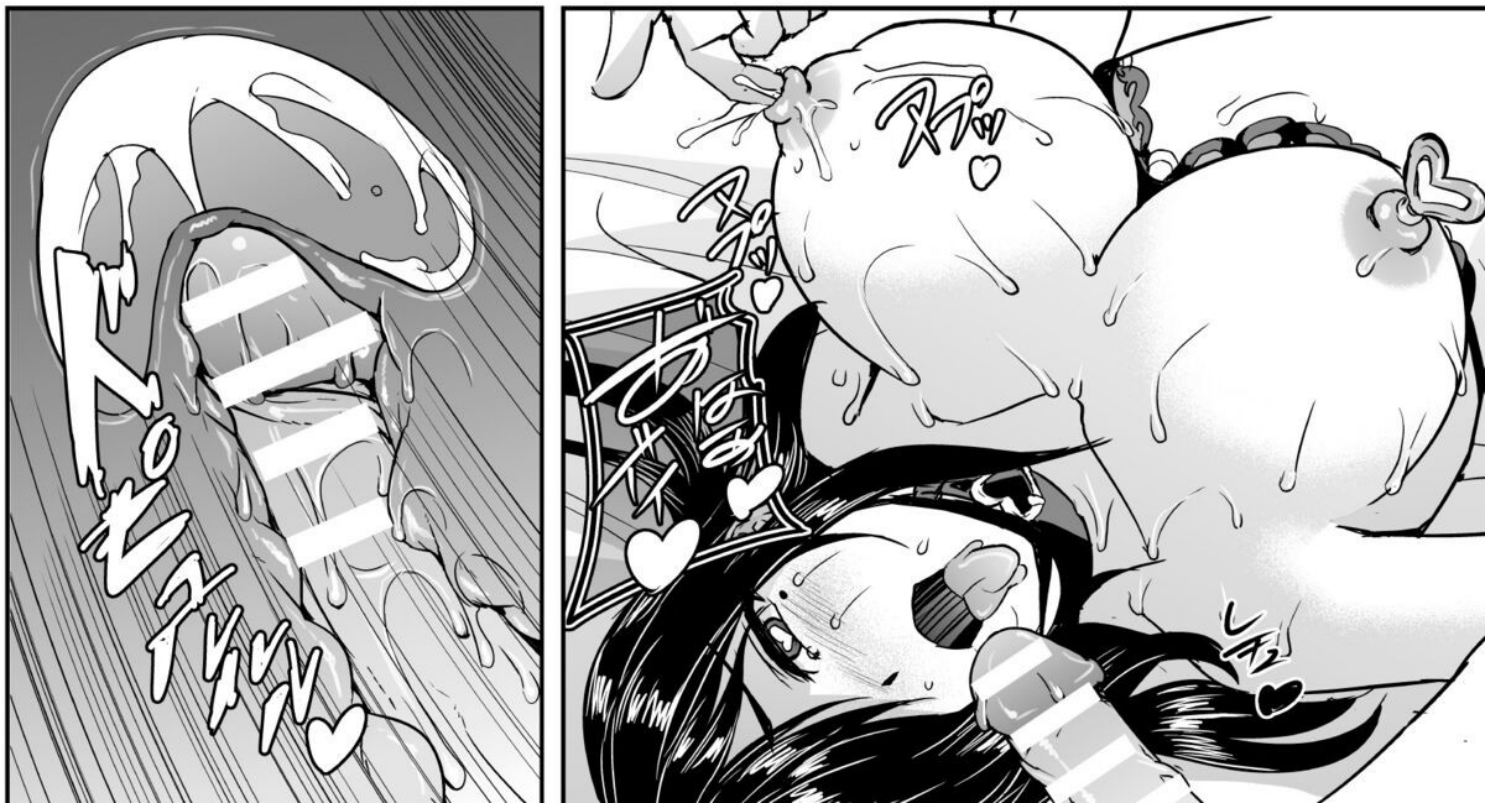


もう
我慢できないんです♡
慶子のオマンコに
チンポをおちこんで
ください

ククク仕方のない
豚女じゃの

ググッ!!

チヤッ



●PLAY







上手いネ徳山
母親の件で
娘は動揺している

はけい
波形にはつきり
表れてるネ

今なら
つけ込む隙があるネ

チキチキ

うわっ！
うわっ！
うわっ！

イビッ！

イビッ！

性感を50倍にも高め
どんな女でも
性の虜にする

どうじゃ？ 新型の
『エンジェルダスト』は？

どうなってるの
さっきまでと
まるで刺激の強さが…

く…
この程度…！

く…しっかりしないと
こんな魔薬なんか
私は負けない…！



身体が今までは
比較にならないくらい
敏感になってる

でもこんな時こそ
気力を振り絞って…!

さて今度の「痛み」は
耐えられるかの？



凄い痛み…
意識が飛びそうに
なった…!!

酷く痛いじゃろ？
感度の上昇と共に
痛覚も上がっておるぞ

…あらご…

…私の身体に
何を…

う…嘘？
さっきよりもっと
敏感になって…!

あ
あ
あ
ん
め
♡♡

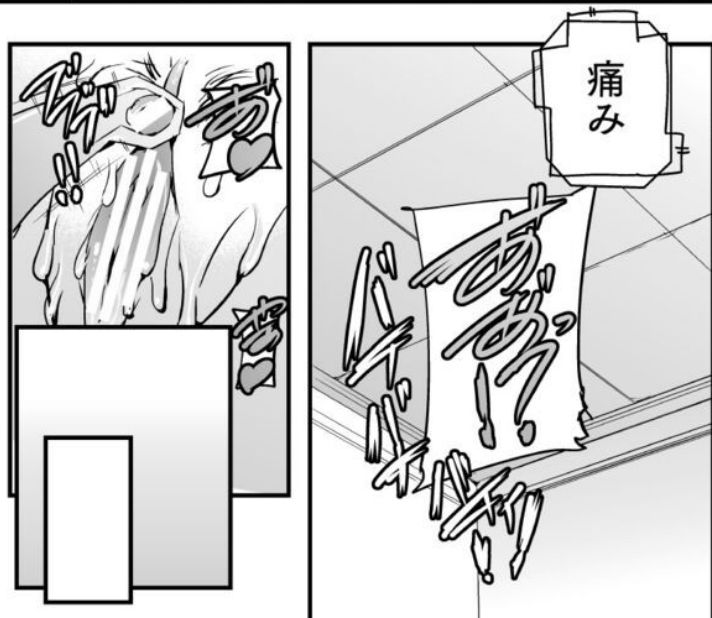
ヤッ
!?

!!

!!

!!

!!



二時間後…

うく…
あ…あ

あ…
ん…
く…

すっかり
出来上がったな

さあワシの手で
とどめを刺して
やろう

ヒビ
マンコは俺が
責めてやるぜ

や…やめ

あ…
ん…
く…







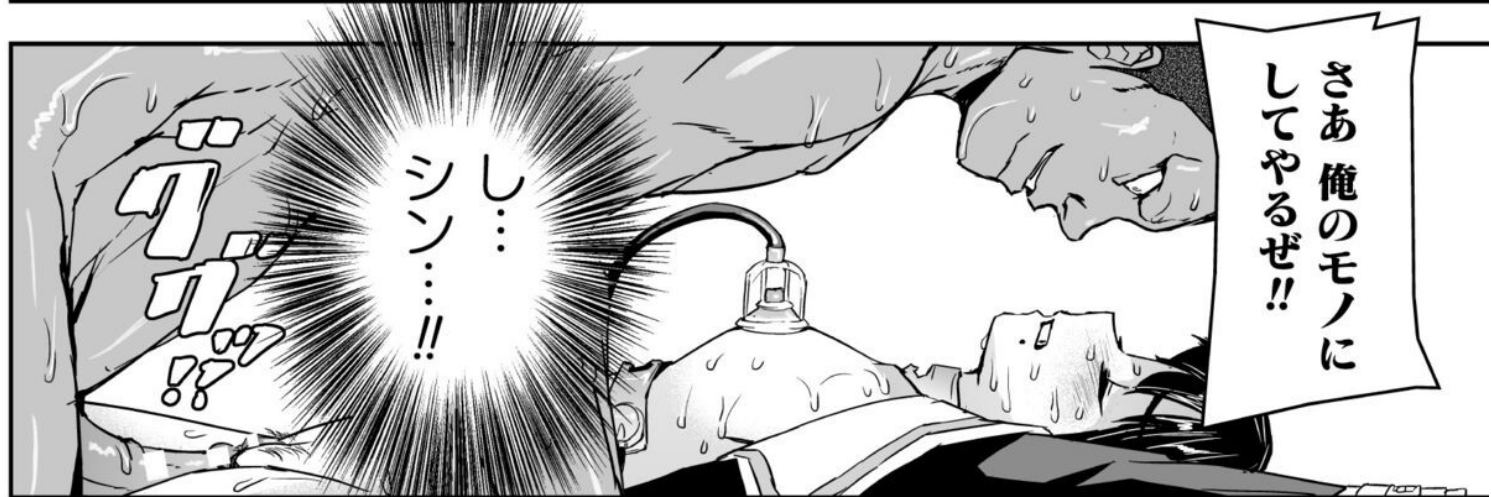


ぐひひ
挿入れてやるぜ
さくら

くう…こんな奴に…
私が…!!

そんな事したら
許さないぞガイ

ヒヒヒヒヒ!
許さなければ
どうするってんだ?



さあ俺のモノに
してやるぜ!!

し…
シン…!!



ご…
ごめんシン
これ以上は…





昔見た母様の
様子が忘れられ
なくて…



ごめん
これ以上進んでしまうのが
怖いの

さくら…



一線を越えたら
自分もあぁなって
しまうんじゃない
かって…

僕は待つよ…

さくらが自分を
信じられるように
なるまで

大丈夫さくらが
変わってしまうなんて
有り得ないよ

…でも

ありがとう…
シン…



ごめんなさいシン…
こんな事になるなんて！



何をされても
私はお前なんかの
モノにはならない！

…く
見損なうな！



ヒヒそんな台詞
すぐ言えなく
してやるぜ！



ヒヒ…さくらあ
コレでお前は
俺の女だ



ガイなんか
な腔内に出されるなんて
奥が熱い…!!

悲しい…
でも大丈夫
私は正気を保っている!

さくらちゃん
初めてのSEXは
どうじゃったかの?

ふん!
不快なだけよ!

ヒヒ…では
さらに気持ちよくなる
ようにしてやるぞ

この魔薬入りの
浣腸液での

やめろ
気持ち悪い!!

お腹がああ
下腹部が
熱くなってる!

さあタップリ
飲むがええぞ

アッ!
アッ!
アッ!

アッ!
アッ!
アッ!





お前の弱いところなんて
もうわかってんだぜ



こんな事いくらやっても
私はお前に
屈したりはしない！



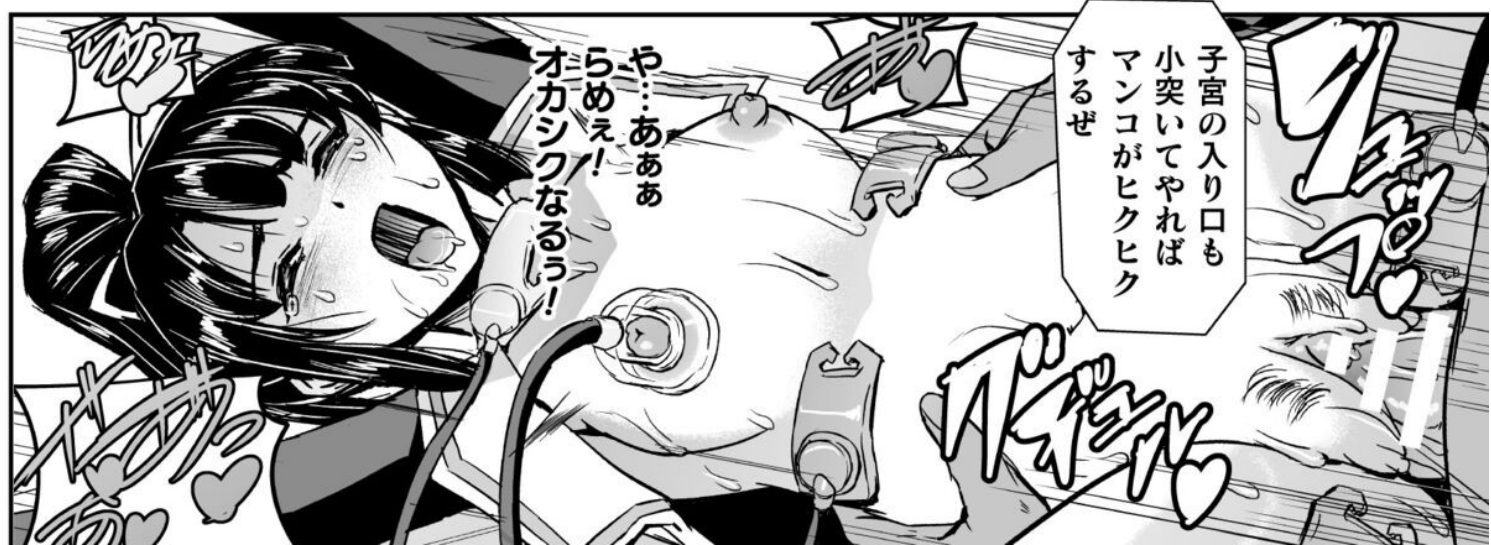
マンコの入り口
付近のここ

い嫌あ
そこ擦られると
切なくなっちゃう…



Gスポットを擦ると
あつという間に
濡れ濡れだ

気持ちイイのお
こ…声抑えられ
ない



子宮の入り口も
小突いてやれば
マンコがヒクヒク
するぜ

や…あああ
らめえ！
オカシクなるう！



おいウー
電撃を流せ



なんで私の身体
ガイの思い通りに
なっちゃうのお!?



おい今流したら
お前も喰らうヨ

構わねえよ
やれ

こんな敏感な
状態で電撃なんて
流されたら!!



痛い痛い痛い
痛ひいいいい!!

ズラッ
うらッ
うらッ
うらッ

ヒビヒビ
リリビリして締まる
いい具合だぜ







気絶してしまいおったか
フッフ ちょうどいい

これから
さくらちゃん
最初の肉体改造を
行うかの

どうするんだ？
親父

まず可愛いお口から…
全部抜歯して
柔らかいシリコン製に
真珠を舌と口内に埋め
魔薬を沈殿させる
刺青も舌に入れようかの

マトモに食事も
できなくなるが

誰よりも美味しく
ペニスを食べる事が
できるようになるぞい

嬉しいじゃろ？
さくらちゃん

あ
あ
あ

つづく

囚われた美少女捜査官
かみしろ
神代さくら
THE
COMIC

神代さくら

かみしろ

囚われた美少女捜査官

THE COMIC

if ショートストーリー③

著:筑摩十幸



「フッフ、朝勃ちをしゃぶらせるのは最高の気分だぜ」

胡坐^{あぐら}をかいたガイが、朝食代わりの握り飯を豪快に頬張りながらほくそ笑む。

「うぐぐ……うむう……」

ガイの剛直を呑み込まれたさくらが、悔しそうに苦しげな呻き^{うめ}をくぐもらせた。昨夜は明け方近くまで魔薬と巨根に犯されて、何度も何度も白濁精を注がれ、絶頂に追い込まれ、最後には失神させられてしまったのだ。

黒髪は乱れて汗濡れたうなじに貼り付き、目の下にはクマまでできている。健康的な柔肌のそこかしこには赤いキスマークが刻まれ、昨夜の情交の激しさを物語っていた。「キンタマもちやんと舐めろ。お前を孕ま

せる子種がタツプリ溜まってるんだからな」

「くう……ぴちゃぴちゃ……うう」

剛毛に包まれた巨大な陰囊に舌を這わせると、濃密な淫臭が鼻を突く。

（なんて男なの……まるでケモノだわ……）

ひろうこんばい疲労困憊のさくらに対して黒人青年は悠然と構え、巨肉棒は今も熱く硬くそそり立っている。無尽蔵とも言える精力には、さすがの少女捜査官も圧倒される想いだ。

「さばるなよ、お前のいやらしい本気汁がタツプリこびりついているんだからな」

「うむむ……くるし……うくう……んっ」

黒髪を鷲づかみにされ、強引にくわえ込まされ、上下に頭を揺さぶられる。体力も気力も消耗した状態では逆らうこともでき

ない。そしてさらに……

「おら、もっと奥までガツポリいけよ」

頭を抑えつけられて、巨根を一気に根元までくわえ込まされた。

「うぐぐぐううっ！」

ズキーンと脳幹を揺さぶる衝撃に目眩めまいを覚える。舌に彫られた卑猥な刺青いれずみから魔薬成分が滲み出し、少女の理性を奪おうとする。頬の内側や喉奥に埋め込まれた真珠はクリトリスに匹敵する鋭敏な性感帯となつて、甘美な毒牙を剥いてくるのだ。

「真珠がチンポに当たってたまんねえ。なんたって俺のチンポに合わせてあるからなあ。俺専用の唇マンコってわけだ。グフフ」
嬉しそうに黒髪を手綱のように操ってイラマチオを強要してくる。

(あうう……こんな……お、お口が……喉が……ああ)

食道近くまで犯されているというのに、息苦しさよりも、そこに湧き起こる快美感に動揺させられた。ガツンガツンと頭蓋を揺さぶられるたび、意識が甘く蕩けて朦朧とし、昨夜の獣じみたガイとのセックスの記憶が生々しく蘇ってくる。

連動するように子宮がキュンキュンと疼き、柔襞はそこに剛棒があるかのように蠢動と収斂しゅうれんを繰り返した。

「お前も感じているんだろう、唇マンコでよお」

「ぷはあっ……ハアハアッ……そ、そんなこと……あるわけないでしょ……うううむ」

一旦肉棒を引き抜かれて、ゼエゼエと苦しげに喘ぐ黒髪の美少女。涎に濡れた唇がグロスを塗った花びらのように艶めいているのがセクシーだ。

「隠しても無駄だぜ。オマンコも濡れているんだろ」

軽々と少女の身体を抱き上げて胡坐の上に乗せると、股を大きく開かせた。

「いやっ……触らないで……あああ……ッ」

「やっぱりな。フッフ」

無骨な指先が秘唇をまさぐると、クチュツと濡れた水音が漏れてくる。

(そんな……私の身体、どうなってしまったの……?)

「もうガマンできねえ」

「やめ……ンあああつ！」

巨根に狭窄を強引にくつろげられて、仰け反る美貌が苦悶に歪む。だがヒリつくような痛みがやがて狂おしい快楽に変わることを昨夜嫌になるほど教え込まれており、それが恐ろしかった。

「中はグッチョリ濡れているじゃねえか。俺様のチンポをしゃぶって感じていたんだろ。おらおらっ！」

「ンあああつ……あああつ……ちがう……うあああんっ」

極太肉棒にズブズブと蜜壺を荒々しくかき回され、子宮を挟られて、^{くすぶ}燻っていた官能の残り火が再び燃え上がる。肉体は疲れ切っているのに、女の性だけがさくらの意思を無視して暴走してしまう。これも魔薬

の影響だろうか。

「お前も喰え。この後学校でも黽^こつてやるからな、身体がもたねえぞ」

「うう……ひやめ……むうう……ンン」

唇を奪われ、握り飯をグチャグチャに咀嚼^{しゃく}したものを流し込まれて、さくらは汚辱感に呻いた。改造によって味覚は失われていたが、それがかえってザーメンを飲まされているような、おぞましい錯覚を呼び起こす。

（ダメ……そんなこと、考えては……）

淫らな記憶を振り払おうとするが、魔薬刺青を施された舌を搦め捕られ、強く吸われると染み出した魔薬成分が脳を痺れさせる。口移しされたモノを飲み下すたびに喉奥の真珠と擦れて、まるで中出し射精され

ているような法悦が湧き起こった。それに連動するかのよう^{しこ}に蜜肉もヒクツヒクツと蠢いて、剛肉棒を喰い締めてしま^うのだった。

「へへへ、キスでも食事でも感じるだろ。ココももう立派なオマンコだな」

改造の効果に満足げに頷きながら、太い舌をピストンのように抜き差しさせる。

「はあ、はああ……そんな……私の唇が……あああ……む」

それに合わせて膣奥を犯す極太男根も抽送されて、さくらはまるで一本の杭で串刺しにされてしまったような錯覚に襲われた。

（だめ……このままじゃ……）

意識は益々混濁^{ますます}し、身体も抵抗力を失って褐色の胸板に背中を委ねてしま^う。いつ

しか細腰もうねり出して、憎き肉棒を淫靡に扱^{しこ}き上げてしま^う。黒曜石の瞳は油膜に覆われたような七色の光彩を浮かべて、淫らに潤んでいく。

「そのうちオッパイも尻も、もっと大きくして俺好みのエロい身体に造り替えてやる」

グローブのような掌が可憐な乳首を捻り、乳房を握りつぶす。もう一方の手が敏感な肉真珠をグリグリとこね回した。

「うああ……そんなのいや……」

「俺のチンポがくわえ込めるように、子宮もオナホに改造してやるぜっ」

口移しの朝食を送り込みながら、ジュボツジュボツと過激なピストンを撃ち込んできた。

「うあ、あああっ！　ら、らめえ……あああ
ああんっ！」

おぞましい未来を告げられて心は凍り付
くのに、魔薬に侵された身体は真っ赤に燃
え盛り、灼熱の淫獄の中でドロドロに溶か
されていく。

（感じたくない……イキたくないのに……
…）

魔薬調教で敏感になった全身が炎に包ま
れ、蜜孔は屈服したように逞しいカリ首に
キュウキュウ絡みつく。溢れ出す夥しい愛
液が、黒い陰茎を伝い落ち、陰囊までもベ
ットリ濡らしてしまう。くびれ腰も淫らに
うねって過激なベリーダンスを止められな
い。

「おら、イク時はちゃんとオマンコイクっ

て言うんだッ！　おおおおっ！」

ズンと子宮を突き上げた巨根が、大量の
精液を噴き上げる。

ドビュッ！　ドビュッ！　ドビュッ！
ビュルルルウウ~~~~~ッ！

「ンアアアアッ！　熱いいい……イク
ッ！　オマンコ、イクウッ！　イっちゃう
う~~~~っ！」

子宮を灼熱の弾丸に撃ち抜かれて、ギク
ンと汗濡れた背筋を反り返らせる。ビクン
ビクンと四肢に痙攣が走り、艶やかな黒髪
がバラバラに乱れて舞い、被虐のアクメを
淫靡に彩った。

「ハアハア……あああ……」

あっさりと敗北絶頂を極めさせられ、ガ
クリと脱力するさくら。魔薬に蝕まれた今

の状態では、巨根責めに太刀打ちできないのだと思い知らされる。観念したように弛緩した唇から涎と咀嚼物がドロドロと溢れ出し、喉元から胸元へと垂れて少女の白肌を穢していった。

「グフフ、犯せば犯すほど味が良くなる。こんな犯し甲斐のある女は初めてだぜ」

巨根を引き抜くと、アクメの余韻に痙攣するサーモンピンクの秘奥からも、濃厚な白濁がドロドロと溢れ出し、牝と牝の匂いがムンムンと立ち込めた。

「絶対俺の牝にしてやるぞ、かみしろ神代さくら。フフフ」

血走る目を獣のようにぎらつかせて、ガイは嗤わらった。

END



二次元ドリームコミックス

囚われた美少女捜査官 神代さくら THE COMIC

【第3話】

漫画

助三郎

原作

筑摩十幸

キャラクター原案

孤裡精

装丁

マイクロハウス

編集

キルタイムコミュニケーション

発行

株式会社キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコビル1F

●編集部 TEL.03-3551-6147 / FAX.03-3551-6146

●販売部 TEL.03-3555-3431 / FAX.03-3551-1208

※本作品の全部あるいは一部を無断で複製・転載・配信・送信したり、
ホームページ上に転載することを禁止します。

本作品の内容を無断で改変、改ざん等行うことも禁止します。

また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©SUKESABURO ©Jukou Tikuma 2022

<https://ktcom.jp/>

【本作品のご意見、ご感想をお待ちしております】

本作品のご意見、ご感想、読んでみたいお話、シチュエーションなど
どしどしお書きください！ 読者の皆様の声を参考にさせていただきたいと思います。
手紙・ハガキの場合は裏面に作品タイトルを明記の上、お寄せください。

◎アンケートフォーム◎

<https://ktcom.jp/goiken/>



◎手紙・ハガキの宛先◎

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコビル

(株)キルタイムコミュニケーション 二次元ドリームコミックス感想係



神代さくら

かみしろ

肛虐魔悦の学園

囚われた 美少女捜査官

筑摩十幸
挿絵◎孤裡精

リアルドリーム文庫

「絶対に……屈したり
なんかしないわ!」
親の仇が潜む学園へ
潜入した美少女捜査官を
魔薬調教の毘が待ち受ける!

原作
小説

書籍版・電子書籍版
好評発売中!

KTC 編集・発行 キルタイムコミュニケーション

〒104-0041 東京都中央区新富1-3-7 ヨドコビル TEL:03-3555-3431(販売) FAX:03-3551-1208

最新情報は
公式サイトへ

キルタイムコミュニケーション

検索